

立憲民主党 古賀千景参議院議員による自衛隊員及びその家族への侮辱的発言 に対する抗議決議

令和 8 年 6 月 15 日の参議院決算委員会において、立憲民主党 古賀千景参議院議員より、「自衛隊に行く子供たちは経済的に厳しい子供たちが行く。豊かな子供たちは自衛隊にはならない」との、極めて差別的かつ侮辱的な発言がなされた。議員の発言撤回や謝罪、党による処分が報じられているものの、この発言が内包する根深い偏見や蔑視の念は消え去るものではない。本発言は、自衛隊員及びその家族に対する悪質な固定観念を社会に植え付けかねず、多くの関係者の尊厳と誇りを著しく毀損した。

自衛隊は、我が国の平和と安全を護る最後の砦であり、災害派遣、救難活動、離島防衛、国際平和協力活動などを通して国民の生命、身体、財産を護る役割を担っている。自衛隊員は、各自の家庭環境や経済状況に一切関係なく、強い志と揺るぎない使命感をもって命を懸けて任務に就いている。教育現場に身を置いていた経歴を持つ国会議員が、このような侮辱的な認識を公の場で示したことは、断じて容認できるものではない。

本市には、自衛隊員を親に持つ児童生徒やその家族が多数居住しており、彼らは本市の大切な一員である。今回の発言は、彼らの尊厳を踏みにじるものであり、その心に深い傷を与え、さらには不当な差別やいじめの標的となる危険性を顕在化させた。豊見城市議会は、多様な背景を持つ全ての市民が安心して暮らせる、人権が尊重される社会の実現を最重要課題と認識しており、このような無責任かつ無知な発言は、その理念に対する明白な挑戦であると断固として非難し、抗議する。

よって、豊見城市議会は、国民の安全と平和のために献身的に職務に当たる全ての自衛隊員及びその家族に対し、最大限の敬意と深い感謝を改めて表明するとともに、古賀千景参議院議員による悪質かつ侮辱的な発言に対し、断固として抗議する。また、関係者に対し、自衛隊員及びその家族への理解を早急かつ徹底的に深めるとともに、今後二度とこのような言語道断な発言が繰り返されることのないよう、厳正な再発防止策を講じることを強く、そして厳しく求めるものである。

令和8年6月 25 日

沖縄県豊見城市議会

宛先 立憲民主党 代表 水岡俊一、参議院議員 古賀千景